

## コンサート09-1

### 「馬向華二胡演奏会 萬里悠情歌 final」

★★★★

2009（平成21）年4月5日鑑賞<山本能楽堂>

二胡：馬向華（マ・シアンホア）

揚琴：張林（チャン・リン）

ゲスト：閻超捷（イエン・チャオジエ）、段超（ドウアン・チャオ）

#### 曲目

～第1部～

江南春色（二胡）

月夜（二胡）

葡萄熟了 閻超捷 演奏

草原上(中胡)

平湖秋月(高胡)

月芽五更(高音板胡)

～第2部～

流波曲（低音二胡）

佛如来 段超 演奏

無窮動 ヴァイオリン曲パガニーニ作曲 段超 演奏

黄梅小調（二胡）

野蜂飛舞 『くまん蜂の飛行』リムスキーコルサコフ作曲 馬向華、閻超捷、段超 演奏

秦腔主題随想曲（二胡）

～アンコール～

蘇州夜曲

◆ 中国音楽や中国映画の関係者たちが月1回集まる「お茶会」仲間である山本隆之さんから、二胡奏者馬向華さんのコンサートチケットをいただいたため、妻と2人で行くことに。馬向華さんは昨年7月25日事務所での天神祭パーティーに山本さんと一緒に参加してくれたうえ、その場のノリで自分の二胡を取り出し演奏してくれた人。そんな彼女が中国を代表する有名な二胡奏者であると後から知ってビックリしたが、今回は彼女の本来の姿をステージ上で見ることに。

◆ 谷町4丁目にある山本能楽堂には今回はじめて行ったが、全席自由席であるため、入場時に悩んだのはどの席がベストポジションなのかということ。能の舞台は通常のステージとは全く違う構造になっているから、奏者たちがどちら向きで演奏するのかによって、右側の席がいいのか左側の席がいいのかが決定的に変わってくる。しかして、結果的に私のカンは大正解！

◆ 今回のメインは馬向華さんだが、揚琴の張林氏もすごい人らしい。私が興味深かったのは馬向華のお弟子さんだという閻超捷、段超というキレイな若い女性が登場してきたこと。一口に二胡と言っているが、二胡には中胡、高胡そして低音二胡などがあるらしい。パガニーニのヴァイオリン曲は難解で有名だが、それを段超さんは楽々と。またリムスキーコルサコフの『くまん蜂の飛行』は超高速で有名だが、お弟子さんの閻超捷さんと段超さんと一緒に馬向華さんがリードしながら3人で見事に演奏。

◆ 途中休憩を含む2部構成だったが、アンコールは『蘇州夜曲』。これは事務所の天神祭パーティーでもみんなで大合唱（合奏）した日中両国でよく知られている曲。そのゆったりとした、何とも美しい音色にうっとり。終了後馬向華さんはサイン会の対応で忙しかったため天神祭のお礼をゆっくり言えなかったのは残念だったが、充実した1日を過ごせたことを山本さんと馬向華さんに謝々！

2009（平成21）年4月15日記